

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(アルピコリゾート&ライフ株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、学歴、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、事業所責任者が積極的に関与している ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・オンライン研修やホットラインの徹底（研修の実施、相談窓口の設置）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・オンライン研修やホットラインの徹底（研修の実施、相談窓口の設置）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8											16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の改正内容を事業所責任者を含め共有している ・長時間労働防止のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている ・各部門、月中での時間外進捗管理を行っている								8.5 8.8											
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている ・グループのコンプライアンス方針の遵守				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全大会(年1回)を開催。 ・グループのコンプライアンス方針の遵守 ・安全衛生委員会を月1回開催し、労災防止、健康の維持等、職場環境改善の為に確認を付き1回程度行っている。				3				8											
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・メンタルヘルスに関する理解を深めるための研修を実施（オンラインを含む） ・産業医による面談を定期的実施。				3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・事業所内の職場で多様な人材が活躍できるように職場の理解を深め、かつ、労働環境を整備している ・更なる環境整備と多様な人材採用で登用者増を図る ・能力にあった女性管理職の登用を増加する(えるほしの取得)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・グループ会社による職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している(一般職研修、管理職研修、Eラーニングなど)、自社での研修体系の構築を進めている。 ・外部研修も取り入れて研修機会を増やしている				4	5.5			8		9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容の研修を受講する等で、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制を整えている ・同一労働同一賃金等の原則について従業員へ周知している ・グループのコンプライアンス方針の遵守					5.5			8.5		10.2 10.3									
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ			・安全衛生委員会による従業員の健康保持・増進の取り組みを行っている ・健康経営に関わる啓蒙活動の実施 ・産業医の意見を取り入れて実施している。				3				8											
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・提供する料理の分量を調整し、食材ロスの削減を実施 ・事業所ごみの分別廃棄を実施し、総量削減に努めている。回収業者からマニフェスト提出を求めている。											11.6	12				14.1			
12 環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			エネルギー使用量を把握し、温室効果ガスの排出を抑制している。								7.3								13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・節電対策 ・EV充電スタンドの設置 ・省エネ商品の利用促進(LED電球へ交換等) ・間伐材を薪に転用し有効利用をしている。								7.2 7.3							12.4	13.3			

14

【有害化学物質】
・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用
に取り組んでいる

基本



・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、対象物の使用量を
毎年チェックする

3.9

6.3

11.6 12.4

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて生物多様性の保全に配慮している ・アルピコグループグリーンキャンペーン参加や感謝の日の清掃活動実施により、地域環境の美化を行っている						6.6							15							
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・間伐材を薪に転用し有効利用をしている。 ・空き瓶類やペットボトルなど分別回収を行っている。													13	14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ				・水道事業者として、契約者の利用状況を把握し、自社の水道管の計画的な更新を行い漏水等の無駄を防ぐ						6.4 6.6													
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				・環境へ配慮した取り組みを主体的・積極的にを行い、脱酸素に向けて具体的に取り組んでいる。			3.9			6	7						12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ				・グループのコンプライアンス方針の遵守														12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ				太陽光発電システムの導入を検討							7.2							13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ				温泉の安定供給のため、源泉の揚湯、配湯設備の計画的な更新を行っている														12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内規程で定めている ・定期的にコンプライアンス研修で研修を実施し、役職員へ周知している																16	16.5			
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本				・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施し、役職員へ周知している ・定期的にコンプライアンス研修で研修を実施し、役職員へ周知している																16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本				・商標等知的財産権の取得・管理を行っている ・社内規程に定められた事項を役職員へ周知し、遵守している							8.2 8.3	9											
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本				・「個人情報保護方針」をホームページで公表している ・社内研修を行い情報管理のルールを役職員へ周知し、適切に管理している																	16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】			・自社製品は食品であり、金属製品を原料として使用していない。																	16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ				・コンプライアンスや反社チェックをアルピコグループコンプライアンス基本方針に沿って行っている。 ・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認活動を行っている。					5			8		10				12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			【予定】	【パートナーシップ構築宣言】作成中			3						8	9	10							17	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
29 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しを実施している ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を実施している			3.9												12.4									
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を事業所内で共有し、役員へ周知している ・社内表彰制度を実施								9																
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・環境・自然・食をテーマとする商品開発、地産地消などSDGs理念の切り口で検討・商品化							6									12	13	14	15					
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・植林活動に地元小学校を招待して積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
33 地域社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域の自治体や町内会、商工会議所等へ出席し、地域に与える影響を確認・把握し、適切に対応している ・営業区域のインフラである温泉・上下水道の安定的な供給のため、計画的な設備の更新、異常発生時の対応に努めている									9		11	12							14	15		17		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・定期的に事業所周辺地域の清掃を行っている ・地元行事に積極的に参加している。				4												11					14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ			・地域の特産品をショップや外販で積極的に販売している ・地元採用を優先して実施している。											8	9				11	12	13						
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内へ共有している	基本			・経営理念を明文化している ・経営方針発表会を実施 ・経営理念や経営方針を従業員へ周知している										8	9												17	
37 組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・社内規程に定められ、役員へ周知している ・社内報や掲示物等で法令遵守の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施している																							16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・SDGs担当者を任命している																							16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・パートナー企業向けの交流会や事業所内の交流会等を実施し、適宜、ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している																							16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・リスク管理規程を定め、リスクの洗い出しや評価を行っている。																								16
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・森林や水資源の保全活動に取り組んでいる。																								16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・事業継続計画(BCP)の策定を行っている																9		11				13 13.1		16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																			8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定